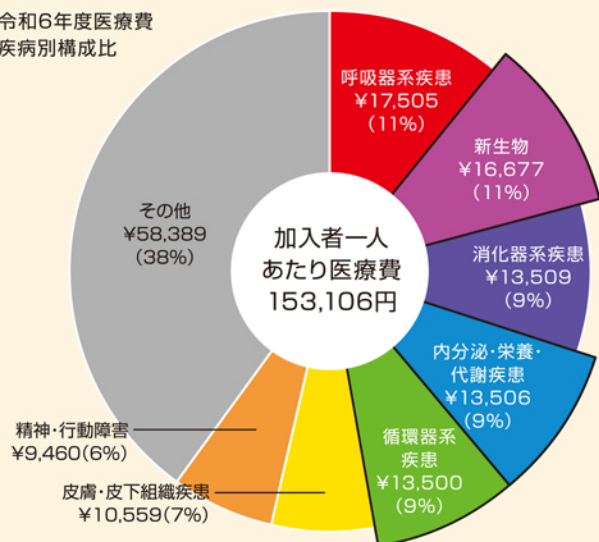


北海道コンピュータ関連産業健康保険組合 令和6年度疾病統計にみる医療費の動向

令和6年度医療費
疾病別構成比



●新生物：がんなど ●消化器系疾患：胃炎、腸炎など ●内分泌・栄養・代謝疾患：糖尿病など
●呼吸器系疾患：かぜ、ぜんそくなど ●循環器系疾患：高血圧、心疾患、脳血管疾患など ●皮膚・皮下組織疾患：水疱症、皮膚炎、じんましんなど ●精神・行動障害：うつ病や統合失調症など

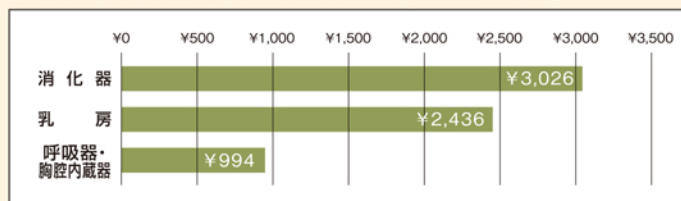
当健康保険組合の令和6年度の医療費は、加入者一人あたり153,106円で前年比+2.3%でした。

令和6年度も新型コロナウイルス感染症などの「呼吸器系疾患」が疾病上位となり医療費の11%を占めています。その他の疾病構成別では、がんなどの「新生物」、生活習慣病にかかる「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」などが依然として上位を占め、医療費の割合は昨年度と変わらず全体の29%を占めています。生活習慣病は初期段階では症状が現れず、重症化してから発見されることが多いといわれていますので、疾病の予防と早期発見に努めるため人間ドック等の健診は必ず年に1回受けることが大切です。

また、メンタル疾患の医療費が多いことも当健康保険組合の特徴です。

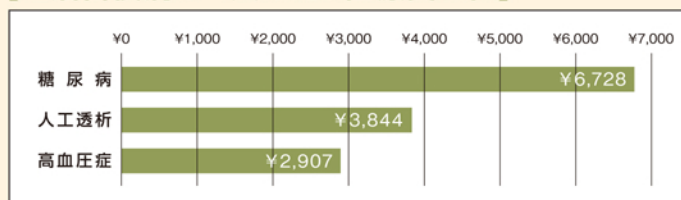
無料相談やカウンセリング(P8参照)を実施していますので引き続きご活用ください。

【新生物(がん等)の一人あたり医療費上位】



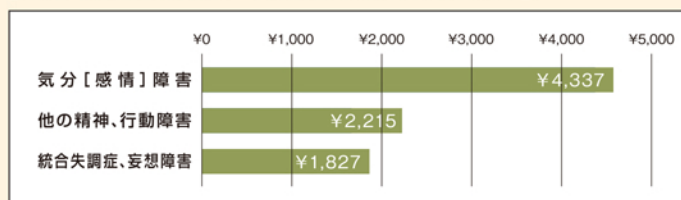
上位より消化器(胃、大腸など)、乳房、呼吸器・胸腔内臓器の順で、呼吸器・胸腔内臓器は前年比+37%増加しました。呼吸器においては60代から、消化器は50代以降が増加しています。

【生活習慣病の一人あたり医療費上位】



糖尿病は前年比+8.4%増加しており、いずれの疾病も30代後半から年齢を重ねるごとに増加しています。

【メンタル疾患の一人あたり医療費上位】



統合失調症、妄想障害は前年比+42%増加と増加傾向にあり、特に10歳代後半と60代後半の増加が目立っています。



オンライン禁煙外来プログラムに参加してみませんか!

申込期間

～2026年3月30日(月)

参加対象

北海道コンピュータ関連産業健康保険組合の組合員

参加費用

通常60,500円(税込)のプログラムが… **自己負担 0円!**

POINT 1 /

完全オンライン対応

スマホ1台で時間や場所を選ばず参加可能

POINT 2 /

禁煙補助薬はご自宅へ

お薬は登録住所のポストにお届け

POINT 3 /

禁煙成功率 88.8%

(2023年度参加者実績)

医師の診察と禁煙補助薬で、多くの方が禁煙に成功しています。

参加方法

- ①お手持ちのスマートフォンにアプリをダウンロード
 - ②右記の健保識別番号を入力いただきプログラムスタート
- アプリは右の2次元コードからダウンロードできます。もしくは、App Store・Google Playにて「Medically」と検索してください。



ユーザー登録の際に必要な
健保識別番号

409010